

未来の暮らし方を育む泉の創造

研究代表者：古川 柳蔵

(東北大学大学院環境科学研究科 准教授)

実施者・協力者： 東北大学大学院環境科学研究科、北陸先端科学技術大学院大学、立命館大学情報理工学部、大阪大学産業科学研究所、モノづくり日本会議ネイチャー・テクノロジー研究会、豊岡市、北上市、沖永良部島、志摩市
実施地域： 豊岡市、沖永良部島、北上市、志摩市

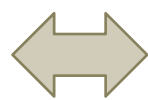
背景

厳しくなる環境制約の下、このままでは今の暮らしを維持できない。しかし、今の利便に依存した生活を手に入ってしまった我々は、これらを手放すことはできず、環境負荷を与えてしまっている。この状況を打開するために、本プロジェクトでは、バックキャスト思考で未来のライフスタイル(LS)を創造し、多世代共創で新たな暮らしの価値を見出し、地下資源に頼らない心豊かな生活に変革する基盤を構築する。高齢者が経験した戦前の暮らし方や失われつつある価値を探索し、地域で残しておかなければならない価値を見出し、豊かさを生み出す新しい事業や政策の創出を可能とする。子どもから大人まで多くの人に課題を考えてもらい、行動に移すきっかけをつくり、ライフスタイル変革を促したい。

プロジェクトが目指すもの

<目標>

- ・未来のLS創出の基盤構築
- ・新たなLSの実装及び普及基盤の構築
- ・取り組みの普及、啓発



<主な評価指標>

- ・描かれる新LS数
- ・新LS体験会数及び参加者数
- ・自治体の関連施策数・助成数・金額・組織数
- ・創出される事業数・規模

<明らかにしたいこと>

- ・環境制約を踏まえ、地域らしさをどのような方法で抽出でき、普及するライフスタイル(LS)に含み入れることができるのか？
- ・LSを具体化するために環境制約を考慮して必要な技術をどのように抽出できるのか？
- ・地域らしさが伝承される多世代共創によるライフスタイルデザイン(LSD)及びその普及はどのようなプロセスで実現できるのか？



(例)新しいライフスタイル“朝露の会”の事業化の可能性
豊岡に伝わる心豊かな暮らし方を、多くの人が体験できる
ライフスタイル体験型のビジネスの一つにアレンジする。

<成果の活用イメージ>

- ・構築した基盤に基づき、生み出されたLSを元に環境制約を乗り越えるビジネスモデルを創出。
- ・ビジネスとライフスタイルが相互効用を生み、ライフスタイル変革を促進させる。

プロジェクトにおける持続可能性、多世代共創

- ・全モデル地域で戦前の暮らしに学び、多世代(親、高齢者)で環境制約の下の心豊かなLSDの実施、多世代(子ども、親、高齢者)で新LS体験会企画・実施(豊岡、北上、沖永良部、志摩)。
- ・例えば、雪室野菜を給食に導入し地産地消の新規事業創出(豊岡)、山に入り親子料理教室(北上)、多世代からなる市民塾を中心に12の検討部会の設置(沖永良部島)、子どもの世界の創出(志摩)。
- ・また、学校教育において、90歳ヒアリング教材により小学校の総合学習で未来の暮らしを創造(豊岡)。

【RQ1】 将来の制約を踏まえ、地域らしさをどのような方法で抽出でき、普及するライフスタイル(LS)に含み入れることができるのか? << 地域の戦前の暮らし、自然資源、人を基盤としたLSデザイン >>



志摩市WGメンバーで90歳ヒアリング

<これまでにわかったこと>

- ・LSをデザインする自治体職員・民間PJメンバーが、直接、90歳ヒアリングを実施し、失われつつある地域らしさを見出し、LSに入れられることを実証。
- ・その結果、地域在住の人が主体的にLSデザインが可能。

<課題>

- ・地域の自然資源(地域らしさ)が循環するLSデザイン
- ・民間PJメンバーのPJ実施時間の確保、企業の立場では目先の利益優先

【RQ2】 LSを具体化するために環境制約を考慮して必要な技術をどのように抽出できるのか?

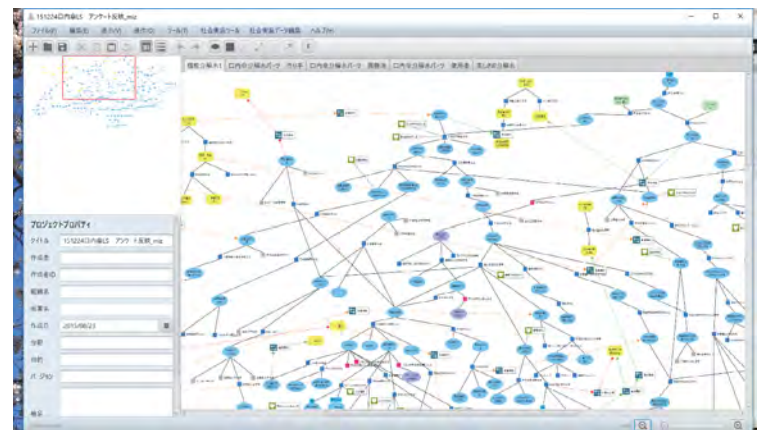
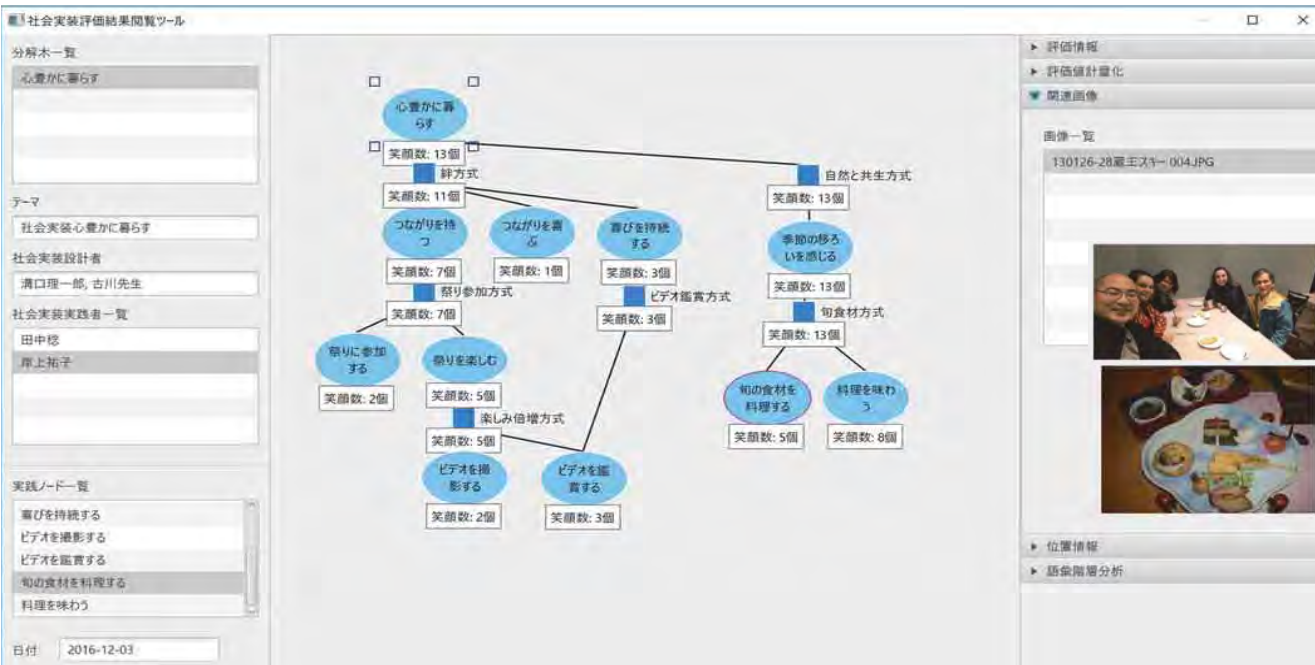
<< オントロジー工学の応用による新評価手法開発 >>

新ツールを利用した評価

・行為分解木の作成者、実施者、実施日、場所の管理機能。

・笑顔の数、楽しさ、満足度などの属性を定義して、実行された行為毎に属性値を入力し、分解木のルートに合計を自動計算し表示

・適宜写真や動画を貼り付けて臨場感も保存。



【RQ3】 地域らしさが伝承される多世代共創によるライフスタイルデザイン(LSD)及びその普及はどのようなプロセスで実現できるのか?

<<自治体に東北大学分室設置、学校教育と連携、全国紙に掲載(日刊工業新聞)、90歳ヒアリングを題材にした創作落語による普及 >>



笑い

桂三四郎さんによる
創作落語の上演
‘夏休みの宿題’ (全地域)
‘島の大学’ (沖永良部)
‘コウノトリの日記’ (豊岡)
地域の90歳ヒアリング結果を題材

“落語”という伝達手法を用いて、多くの人にこれらの重要性を楽しく伝えることが可能。古典落語にある、昔の制約の中の豊かな暮らしを参考に、今、存在しない楽しみ方を発見することが可能。
“落語を聞いたことで意味が分かった”(沖永良部シンポ アンケート)



学び

小学生や高校生に総合学習の時間を利用し、環境制約やLS変革の必要性の授業を実施。(豊岡など)



伝え

豊岡の芝居小屋の永楽館で授業内容が演劇として発表された。小学生の演劇は大人の参加者に対して訴求力が強い。(豊岡)
地域の人・親が感動して涙した(豊岡シンポ)

<<その他の発見>>

・子育て世代“お母さんWG”は実質多世代。地域以外の複数の価値観による共創。(豊岡)

<お母さんWGのLSD>
・お寺が地域の共有空間など
・田舎の人にとって、自然は景色であって、自然に触れていない(全地域)。

■ 今後の活動 ■

ライフスタイル変革の測定

- 親子参加型
「木育ワークショップ」
1. つくる
 2. 直す
 3. 作り変えて長く使う

